

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年7月10日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年7月10日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【港湾物揚場における人身災害の発生について】 2018年6月9日(土)9:30頃、被災者は、港湾物揚場において作業中、ボルトが入った段ボール箱を持ったまま梯子を上り、バランスを崩し落下。 左足かかと骨折と診断を受ける。 本不適合は、昨日審議された「港湾物揚場における人身災害に係わる富岡労働基準監督署からの指導について」の人身災害に対する不適合です。</p>	G I	6月9日 (2018)
2	<p>【6号機バッテリー室空調排水ラインからの結露水の滴下について】 6号機バッテリー室空調排水ラインからの滴下を確認。 調査の結果、結露水と判断。 空調を「送風」運転とし、滴下停止。 結露水については、拭き取りを実施。 今後、調査修理予定。</p>	G III	7月8日
3	<p>【増設多核種除去設備(C)クロスフローフィルタ逆洗装置(4C)からの漏えいについて】 増設多核種除去設備(C)クロスフローフィルタ逆洗装置(4C)周辺で水溜りを確認。 調査の結果、逆洗装置のシール部排水孔からの漏えいを確認。 増設多核種除去設備(C)を停止し、漏えいは停止。 漏えい水については、拭き取りを実施。 今後、点検修理予定。</p>	G III	7月5日